

6 室外ユニットの設置

室外ユニットの設置は“据付場所の選定”をお読みください。

降雪・寒冷地域の据付について

- ドレン排水は、付属のドレンニップルは使用しないで「タレ流し」にしてください。
- 積雪から保護するため、「架台」に据え付け、防雪フード・防雪板を取付けてください。

積雪ラインより50cm以上、上に据え付けてください。



別売「室外ユニット高置台」使用例 (型式: RB-D401K1)

7 ドレン排水

室外機底版には、暖房運転時の除霜水を効率よく排水させるために穴があいています。ベランダ置きや壁面据え付け時など集中排水が必要な場合は、下記手順に従って排水処理を行ってください。

【405タイプのみ】

- 底版下面にある2個の長穴に 防水ゴムキャップを取り付け、排水処理を行います。
『防水ゴムキャップの取付方法』
(1) 防水ゴムキャップに4本の指を入れ、底版下側から排水穴に押し込んで挿入します。
(2) 外周部を押し、確実に挿入してください。(不完全挿入、外周部のめくれ、挟み込みは水漏れの原因になります)

【225・405タイプ共通】

- ドレンニップルと、別売の「延長ドレンホース」または、市販の「ドレンホース」(内径16mm)を取り付け、排水処理を行います。
ドレンニップルの取り付け位置は、室内外ユニット据付図参照。
(室外ユニットは水平であることを確認し、接続のドレンホースは「たるみ」がないよう下向きにします。)

お願い

市販の「ビニールホース」はつぶれて排水できない恐れがあるので使用しないでください。

8 冷媒配管の接続

接続配管

液側 (外径)	ガス側 (外径)
6.35mm	9.52mm

銅管外径	R410A用	R22用
6.35	9.1	9.0
9.52	13.2	13.0

従来のフレアツールを使って R410A用のフレア加工をする場合は、右表の両側 R22のときより約0.5mm多めに加工して規定のフレア寸法に加工します。出し代の寸法調整は銅管ゲージを使用すると便利です。

フレア加工

パイプカッターで配管を切断します。
バリは必ず取ってください。(ガス漏れの原因となります。)

フレアナットを配管に挿入後、フレア加工をします。
R410A用のフレア加工方法は、従来のR22用とは異なります。
R410A用に新規に製作されたフレアツールを必ず使いますが、従来のツールでも下表の通り銅管の出し代を調整すれば使用できます。

フレア加工時の銅管出し代: B

リジッド（クラッチ式）の場合		(単位: mm)		
銅管外径	R410A用ツール使用時	従来ツール使用時		
	R410A	R22	R410A	R22
6.35	0～0.5	(同左)	1.0～1.5	0.5～1.0
9.52	0～0.5	(同左)	1.0～1.5	0.5～1.0

接続部の締付

接続配管の中心を合わせフレアナットを指先で十分締め、図のようにスパナで固定し、トルクレンチで締め付けます。

銅管外径	締付トルク (単位: N・m)
6.35mm	14~18 (1.4~1.8kgf・m)
9.52mm	33~42 (3.3~4.2kgf・m)

お願い

トルクをかけ過ぎますと、据付条件によってはナットが割れる場合があります。

